

昭和 63 年度漁業後継者対策事業

県では、新しい知識と技術を持った漁村の人づくりが急務となっているため、組織的な学習や交流活動をととして相互の緊密な連携と情報交換を行い、漁業後継者としての地域自立経営型漁業者を育成することを目的として漁業後継者対策事業を実施している。

ここでは、昭和63年度漁業後継者対策事業の実施状況について報告する。

1. 漁村青少年協議会

この事業はグループ活動の自主的な運営を助長するため、グループの代表者を主体に漁業士、市町村及び漁業団体の職員並びに学識経験者をもって構成する。

漁村青少年協議会はグループの意向の集約、活動計画の調整及び活動実績の評価等を行うとともに漁業後継者対策事業計画や実施状況について協議し、任期は2年間となっている。

協議会委員のメンバーは前年度と同様で、本島地区、宮古地区、八重山地区においてそれぞれ3回づつ協議会が開催され討議が行われた。

2. 少年水産教室（夏期学級）

少年水産教室は、義務教育課程にある生徒（主に中学2～3年生）を対象に水産に関する初歩的知識、技術及び後継者育成について集団指導又は教材の配布を行っている。今年度も普及所では夏休みを利用して宿泊施設で宿泊しながら、水産高校の先生を講師に、5日間の夏期学級を実施した。

(1) 場所及び期間 沖縄県水産業改良普及所 昭和63年7月25日～7月29日

(2) 少年水産教室受講者

番 号	受 講 者 氏 名	学 年	学 校 名	漁 協 名
1	平 良 辰 末	3	伊 是 名 中 学	伊 是 名 漁 協
2	東 江 竹 光	3	伊 是 名 中 学	伊 是 名 漁 協
3	前 川 史 也	3	伊 是 名 中 学	伊 是 名 漁 協
4	田 仲 康 一	3	伊 是 名 中 学	伊 是 名 漁 協
5	名 嘉 里 広	3	伊 是 名 中 学	伊 是 名 漁 協
6	並 志 良 堂 瑞	3	伊 江 中 学	伊 江 漁 協
7	山 川 昇 忠	3	伊 本 部 中 学	伊 本 部 漁 協
8	山 村 川 忠 邦	3	伊 本 部 中 学	伊 本 部 漁 協
9	山 知 念 幸 作	3	伊 本 部 中 学	伊 本 部 漁 協
10	山 知 念 幸 作	3	伊 本 部 中 学	伊 本 部 漁 協
11	新 武 當 一 清	2	伊 勝 第 2 中 学	伊 勝 第 2 中 学
12	知 立 幸 作	2	伊 勝 第 2 中 学	伊 勝 第 2 中 学
13	西 武 當 一 清	2	伊 勝 第 2 中 学	伊 勝 第 2 中 学
14	東 江 城 井 城	2	伊 具 志 頭 中 学	伊 具 志 頭 中 学
15	玉 玉 城 井 城	2	伊 具 志 頭 中 学	伊 具 志 頭 中 学
16	玉 玉 城 井 城	2	伊 具 志 頭 中 学	伊 具 志 頭 中 学
17	玉 玉 城 井 城	3	伊 具 志 頭 中 学	伊 具 志 頭 中 学
18	玉 玉 城 井 城	3	伊 具 志 頭 中 学	伊 具 志 頭 中 学
19	玉 玉 城 井 城	3	伊 具 志 頭 中 学	伊 具 志 頭 中 学
20	高 江 洲 和	3	伊 石 垣 第 2 中 学	伊 石 垣 第 2 中 学

(3) 時間割表

昭和63年 7月25日～7月29日

月日	曜日	時間	6	7	8	9	30	10	11	12	13	15	16	17	18	19	20	21時
7月25日	月	起床	ラジオ体操	朝食	開校式準備	開校式	オリエンテーション	沖縄県のビデオ	水産業講義	昼食	魚類処理加工実習	夕食	自由時間	室長会議	就寝			
26日	火	起床	ラジオ体操	朝食	漁具製作実習	(水産高校教諭)				昼食	ロープ結索実習(水産高校教諭)	レクリエーション	夕食	自由時間	室長会議	就寝		
27日	水	起床	ラジオ体操	朝食	シャコ貝放流実習(中城浜漁港沖リリース)					昼食	シャコ貝放流実習 養殖場見学	夕食	自由時間	室長会議	就寝			
28日	木	起床	ラジオ体操	朝食	水泳訓練及び救急法(水産高校教諭)					昼食	くり舟操船実習	さよなら営火			就寝			
29日	金	起床	ラジオ体操	糸満市場朝見学	感想文	水産高校紹介	終了証授与											

(4) 感想文

与勝中学校2年 新立孝作

はじめて水産業改良普及所を見たとき、あまりきれいではなかった。でも、自分たちがねる所にクーラーがついていたのでよかった。それに卓球台があったので、よく遊んだ。はじめての自習の沖縄県の水産業のビデオを見た時、みんな最初はまじめに見ていたけど、どんどん時間がすぎていくにつれて、みんなねてきた。

魚類処理加工実習は、腹びらきがむずかしかった。魚具製作実習は、最初はむずかしかったけど、どんどんなれてきて、かんたんになってきた。シャコ貝の放流は、たのしかった。とくにウニがおいしかったです。ソフトボールは、ぼくたちがかって、ぼくはそのつぎのしあいはできませんでした。

水泳は、きゅうじょのおよぎ方があまりうまくできなかった。くり船をこぐのは、水がいっぱいかかってたのしかったです。キャンプファイヤーは、カラオケがあったので楽しかったです。

そして、今日の糸満漁協市場見学は、いっぱい魚があり、とくにマグロ、カツオ、アカジンが多かったです。

来年、もしこれのなら来てみたいと思います。それから今年、1年生をみつけて、お前行け、と行って行かしたいと思います。

最後にごはんを作ってくれたおばさんがた、どうもありがとうございました。5日間がとっても楽しかったです。

3. 交流学習会

この事業は、地域振興を図るため地域における未開発の技術又は経営手法の導入にあたって、後継者自らが地域の特定課題又は技術内容を十分理解し得るよう専門家を招き集団学習を行うものである。

今年度は、9月29日に恩納村恩納ハイツにおいて、講師に愛媛県宇和島市遊子漁協組合長古谷和夫氏を招聘し、「遊子における宮漁について」（漁場の自主管理について）の演題で講演会を行った。

当日は漁協青年部、研究グループ、漁協役職員、市町村水産担当職員、水産団体職員50余名が参加し、活発な質疑応答と討議が行われ、また、学習会後の懇親会では相互の親睦を深めた。

4. 青年水産教室

この事業は漁協青壮年、研究グループを対象に漁業技術、増養殖技術、あるいは漁業経営等に関することについて講演会等を開催し、技術向上に寄与することを目的とする。

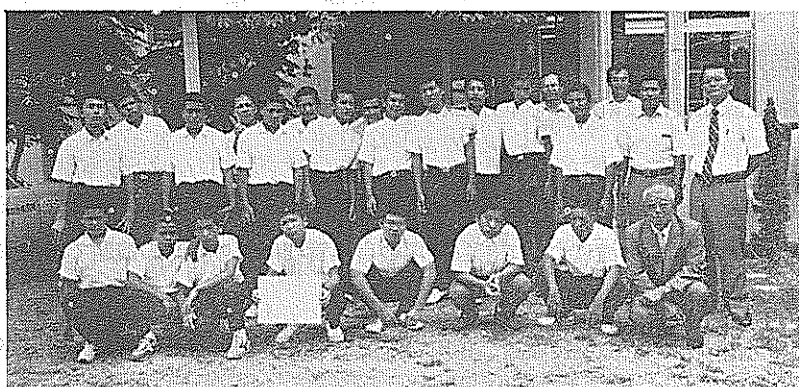
今年度、第1回目は昭和63年6月14日に恩納村立コミュニティセンターにおいて、琉球大学海洋学科助教授諸喜田茂充先生を招聘し、「珊瑚礁海域の栽培漁業について」と題して講演会を実施した。参加者は45名で質疑応答も数多くでて、有意義な講演会であった。第2回目は平成元年1月27日に那覇市の水産会館において鹿児島県漁協青年部連合会顧問川畑三郎氏を招き、「青年部の実践活動について」と題して講演会を実施した。当日は青壮年婦人活動実績発表大会ということもあって、参加者も多く活発な講演会となった。

5. 漁村青壮年婦人活動実績発表大会

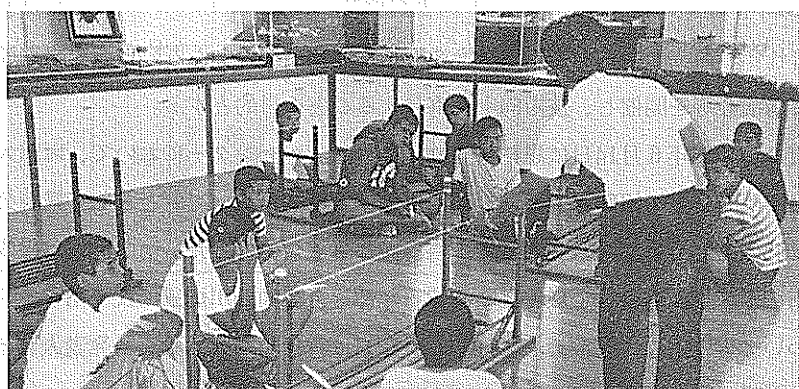
この事業は、漁協青壮年および婦人・研究グループが自主的な活動実績を発表し、相互の知識と技術の交流を図り、活動意欲を高めるとともに地域の生産技術の向上、経営の改善等に寄与することを目的に開催する。

今年度は平成元年1月27日に那覇市の水産会館において本島・宮古・八重山から次の発表者及び発表課題により大会が開催された。今年度も参加者は300余名に達し、大会は活況を呈した。なお、最優秀賞には知念漁協青年部西銘喜久氏が選ばれた。

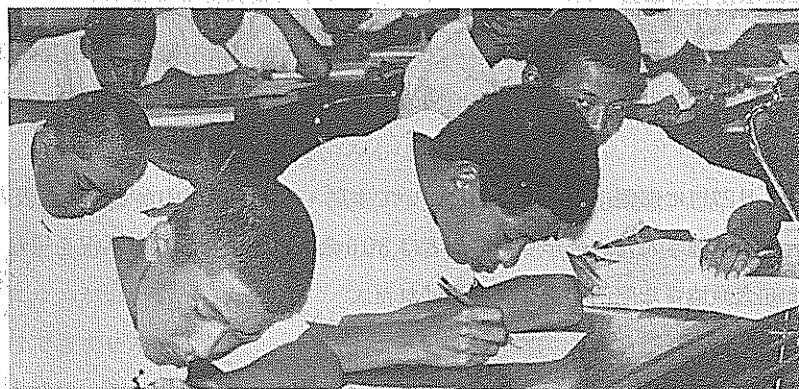
発 表 者	発 表 課 題	所 属
西 銘 喜 久	漁業後継者をめざした青年部活動	知念漁協青年部
渡久地 清 子	特産品カツオ付加価値の向上	本部漁協婦人部
佐久本 重 夫	クビレツタ養殖とホヤ対策	具志川市漁業組合青年部
勝 連 カヨ子	カツオのふりかけ開発について	池間漁協婦人部
具志堅 武	資源管理型漁業をめざして	八重山漁協青年部



昭和63年度少年水産教室受講生と普及所職員



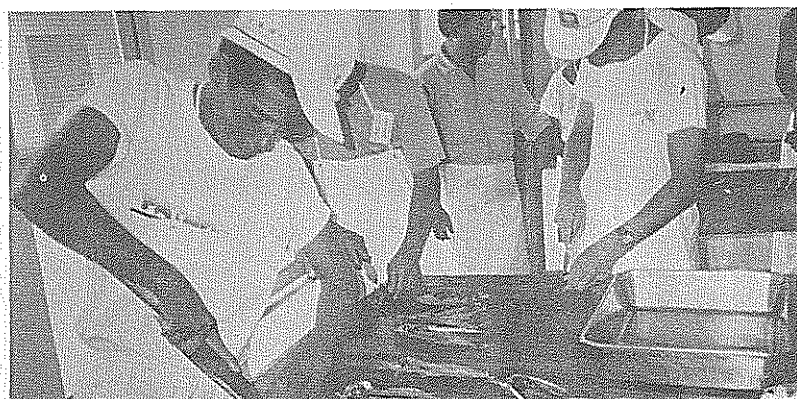
網漁具製作実習



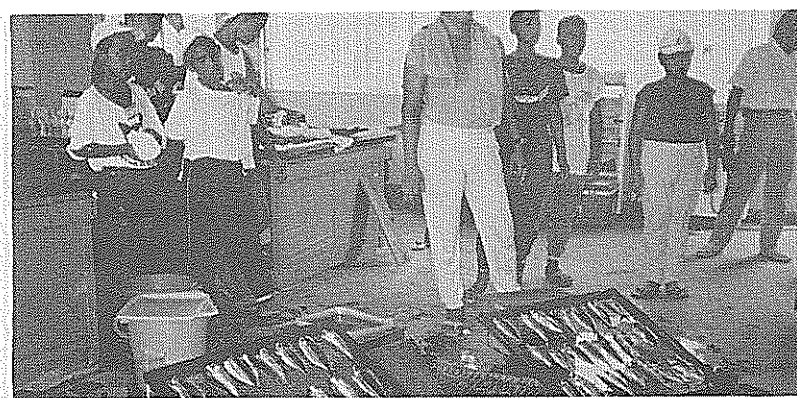
受講終了前のレポート作成



サバニの操船実習 香島県



トビウオ製造加工実習 香島県



トビウオの開き終了後実習説明 香島県



発表者 西 銘 喜 久 さん



発表者 具 志 堅 武 さん



発表者 渡久地 清子 さん

少年水産教室受講生の動向について



昭和63年度第13回実績発表大会



発表者 勝 連 カヨ子さん



発表者 佐久本重夫さん



恩納ハイツにおける交流学习 遊子漁協 古谷和夫氏



実績発表大会で紹介された漁業士のみなさん



恩納村コミュニティーセンターにおける琉大 諸喜田先生を招聘しての青年水産教室